

私の住む町の図書館では、旧作『無税入門』が借りられます。図書館が作成した「内容紹介」にはこうあります。

24

—私の「無税人生」を完全公開しよう。

税金ゼロこそ、手間とコストのかからない、

強力な生活防衛術のひとつだ！

サラリーマンなのに無税になる理由と仕組みを解説し、

「取られない人間」に変身するノウハウを紹介する。

旧作が出てから10年が経過しました。その間のトピックスを時系列で述べてみます。

- ・2007年10月、発刊。まったく反応なし。
- ・1年後の2008年9月13日(土)、朝日新聞に拙著の記事が小さく出た。
その夜、アマゾンで一気に2位におとり出る。
- ・2日後の08年9月15日、リーマン・ブラザーズ破綻。
100年に一度の世界的な金融危機が勃発した、と大騒ぎに。
- ・08年10月、日経平均は6営業日連続で2000円下落。1万円を割り込んだ。
- ・10年後の2018年、日経平均は2万円台を維持。
政府は「働き方改革」の一環として「副業解禁」を宣言。

- ・2018年6月、国家公務員、公益性の高い業務のみ、副業容認へ。

以降、恐縮ですが私自身の話をさせていただきます。「無税」「副業」といった事柄に社会や税務署はどんな目を向けてきたのか、おわかりいただけると思いますので、しばしば付き合ってください。

朝日が吹かせた「神風」

2008年9月13日土曜の朝、朝日新聞の一面に「サラリーマン『逃税』の乱」と題する特集記事が出た。10年前です。

記事は3面(社説の右)と12面で大々的に展開され、一面では大手商社に勤める給与1400万円の高給取り(50代)と、しがないサラリーマン(私)を鮮烈に対比し、2人の「逃税生活」を描いています。

商社マンは税の知識をフル活用し、ほぼ「無税の人」。「そこまでやるかあ」とその手法のえげつなさにあきれました。

25